KENWOOD

音楽データ管理ソフト

ミューリア
Mulia

インストールマニュアル

本書では、SJ-7MSと組み合わせて使う音楽データ管理ソフト『Mulia』のインストール方法と使用上の注意を説明します。
『Mulia』の詳しい使いかたは、オンラインヘルプを参照してください。

目次

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5138-00 00 (CH) (J) CR 0108

はじめに

音楽データ管理ソフト『Mulia』(以下『Mulia』と称します)は、CDやメモリースティックに録音された音楽などをパソコンに記録して、再生・編集・管理ができるソフトウェアです。
音楽データは、圧縮されたデータの音質を飛躍的に向上させる「Supreme」(用語説明→下記)を採用しているため、高音質で再生・編集・管理ができます。
また、音楽データを暗号化して記録する著作権保護技術「OpenMG」(用語説明→下記)を採用しているため、著作権者の意思に沿った音楽データの記録・再生が可能です。

『Mulia』は、パソコンのハードディスクにインストールする必要があります。
「インストールの前に」(→次ページ)にすすんでください。

POINT

- Windowsの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書、またはオペレーティングシステムの取扱説明書を参照してください。

用語説明

『Mulia』を使用するにあたって、知っておいていただきたい用語を説明します。

■ OpenMG

パソコンや、外部機器／メディア間でお互いに認証し、データをやり取りする際に使われる著作権保護技術の事です。OpenMGを使用するとデジタル音楽ファイルを暗号化してパソコンのハードディスクに保存する為、ほかのパソコンへの不正コピーやインターネットなどへの不正な配信を防ぎます。

■ Supreme

ケンウッド・ジオビット社が開発したデータ音質向上技術。
MP3をはじめとする圧縮形式の音楽データフォーマットは、データ容量を小さくできる反面、再生時に音質が劣化します。これは、圧縮の際に高音域を中心としたデータが間引かれることが原因であり、「Supreme」は、その高音域帯を補完することで、原音に近い音楽データの再生ができます。

■ チェックイン／チェックアウト

OpenMG対応ソフトで管理している音楽データを外部機器や他の記憶媒体に渡すことを「チェックアウト」、パソコンへ戻すことを「チェックイン」といいます。

インストールの前に

『Mulia』をインストールする前に、以下を確認してください。

ご使用の環境を確認しましょう

『Mulia』を使用するには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。

	必要条件	備考
オペレーティングシステム	Windows 98 Second Edition / Windows Millennium Edition / Windows 2000 Professional	Windows 95 / Windows 98 / Windows NT / Windows 2000（Serverなど）/ Windows XPでは動作保証しません。
本体	上記オペレーティングシステムのいずれかを正式にサポートしているIBM PC/AT互換機（日本語版のみ）	Macintoshでは動作しません。
CPU	MMX Pentium 233MHz以上 PentiumⅡ400MHz以上推奨	CD録音やファイルをインポートしているとき、またはチェックイン／チェックアウト（用語説明→P.2）をしているときは、パソコンの処理能力によって再生音が途切れることがあります。
メモリ	64MB以上	
ハードディスク空き容量	100MB以上	Windowsのバージョンによって異なります。 音楽データを記録・再生するための空き容量が別途必要です。
ディスプレイ	High Color（16bit）以上 800×600ドット以上	256色以下では、正常に動作しない場合があります。
サウンドボード	Windows 98 Second Edition / Windows Millennium Edition / Windows 2000 Professional 対応のサウンドボード	
その他	USBポート （USB規格Ver.1.0に準拠）	SJ-7MSを使用する場合は、USBポートが必要です。 USBハブで拡張されたUSBポートは動作保証しません。
	CD-ROMドライブ	ドライブまたはCD-ROMドライバーによっては、CDからの録音が正しくできない場合があります。 USBで接続したCD-ROMドライブからの録音は動作保証しません。
	Internet Explorer 5.0以降、Windows Media Player 6.1以降が必要	

上記環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

注意 Windows 2000 Professionalをお使いの場合

Windows 2000 Professionalで『Mulia』を動作させる場合は、以下の制限があります。

- Windowsドメインユーザーアカウントから、ログオンして使用することはできません。
- インストールは、管理者権限（Administrator）の権限で行ってください。
  管理者権限（Administrator）のあるユーザーでも、全角のユーザー名でログオンすると、インストールが失敗することがあります。
  その場合は、いったんログオフして管理者権限（Administrator）のユーザー名でログオンし、『Mulia』をアンインストール（→P.5）してから、再度、管理者権限（Administrator）のユーザー名でログオンして、インストールを実行してください。
- 『Mulia』を使用するときは、管理者権限（Administrator）および標準ユーザー権限（Power User）のユーザー名でログオンして実行してください。
- Windows 98 Second Edition、またはWindows Millennium Editionとデュアルブート環境にしている場合に、両方のOSに『Mulia』をインストールすると、データが正しく記録・再生できません。
- USBで接続したCD-ROMドライブから、『Mulia』で録音することはできません。
- NTFSフォーマットには対応していません。FAT32フォーマットでお使いください。

Muliaのインストール

Muliaをインストールしましょう

パソコンのハードディスクに『Mulia』をインストールします。あらかじめWindowsを起動しておきます。使用中のソフトウェアがある場合は、すべて終了してください。

1 添付の『Muliaインストール用CD-ROM』をCD-ROMドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動して、[Muliaインストール]画面が表示されます。

- [Muliaインストール]画面が表示されないときは、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、『Muliaインストール用CD-ROM』が挿入されているCD-ROMドライブをダブルクリックしてください。

POINT

- 「古いバージョンのOpenMG JukeboxまたはSonicStageが検出されました。」と画面に表示された場合は、[はい]ボタンをクリックし、次ページの「OpenMGのアップグレード」を参照して「OpenMG Jukebox」、または「SonicStage」のアップグレードを行ってください。

2 インストール先のフォルダを選ぶ

フォルダは自動的に選択されます。

- 変更する場合は[参照]ボタンをクリックし、インストールしたいフォルダを選択します。

3 [次へ] ボタンをクリックし、画面に表示される指示に従って操作する

4 「インストールが完了しました。PCを再起動します。」と画面に表示されたら、[OK] ボタンをクリックし、再起動する

POINT

- Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、管理者権限(Administrator)のユーザー名でログオンして実行してください。

OpenMGのアップグレード

古いバージョンの「OpenMG Jukebox」または「SonicStage」がインストールされている場合は、OpenMGのアップグレードを行います。

(1) 「OpenMG Jukebox Ver.1.X/2.0/2.1」でチェックアウトした曲データをチェックインする

(2) バックアップツールで、曲データのバックアップを行う

バックアップの方法は、「OpenMG Jukebox」のオンラインヘルプを参照してください。

(3) 添付の『Muliaインストール用CD-ROM』をCD-ROMドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動して、[Muliaインストール]画面が表示されます。

- **[Muliaインストール]画面が表示されないときは、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、『Muliaインストール用CD-ROM』が挿入されているCD-ROMドライブをダブルクリックしてください。**

(4) [Open MG Jukebox 2.2へのアップグレード]ボタンをクリックする

(5) [はい]ボタンをクリックする

(6) 以降、画面に表示される指示に従って操作する

- **「ロックされたファイルの検出」と画面に表示された場合は、[無視]ボタンをクリックする。**

(7) アップグレードが終了したら、『Mulia』のインストール(→P.4)を実行する

Muliaをアンインストールする場合

『Mulia』が不要になった場合は、プログラムを削除します。

POINT

- Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、管理者権限(Administrator)のユーザー名でログオンして実行してください。

(1) [スタート]ー[プログラム]ー[Mulia]ー[アンインストール]をクリックする

アンインストーラが起動します。

(2) 以降、画面に表示される指示に従って、アンインストールを実行する

POINT

- 『Mulia』をインストールすると、以下のモジュールが追加されます。

  Microsoft® Data Access Components 2.5
  ©1981-1997 Microsoft Corporation.
  All rights reserved.

  Microsoft® DirectX® Media Runtime
  ©1998 Microsoft Corporation.
  All rights reserved.

  Microsoft® Windows Media Component Setup Application
  ©1992-2000 Microsoft Corporation.
  All rights reserved.

  必要に応じて外部機器/メディア用デバイスドライバー、ATRAC3デコーダーもインストールされます。
  『Mulia』をアンインストールしても、上記のモジュールは削除されません。
- 『Mulia』をアンインストールしても、『Mulia』データの保存先として指定したフォルダには、『Mulia』で編集したデータが残ります。

Muliaを使うときの注意

『Mulia』を使う前に必ずお読みください。

■ SJ-7MSとパソコンをUSBケーブルで接続するとき

- 必ず『Mulia』をインストールしてから、接続してください。
- SJ-7MSのモード設定を「PC CONNECT」にしてください。操作方法はSJ-7MSの取扱説明書を参照してください。
- チェックイン／チェックアウト中、またはムーブ中は、USBケーブルやメモリースティックの抜き差しをしないでください。

■ システムサスペンド／システムハイバネーション（省電力）モードを設定しているとき

- SJ-7MSを接続中、または音楽を再生・録音中は、パソコンを省電力モードに移行しないようにしてください。
  特に、CD録音、ファイルインポート、チェックイン／チェックアウト操作中に省電力モードに移行すると、データが失われたり、OSが正常に復帰しない場合があります。
- 省電力モードに移行したときは、CDやメモリースティックなどのメディアを入れ替えないでください。復帰後にデータが失われることがあります。

■ CDを録音しているとき

- 『Mulia』でCD録音しているときは、CDを取り出さないでください。

■ 他のアプリケーションを使うとき

- 他の音楽アプリケーションと『Mulia』を同時に使用したり、他のCDプレーヤーを使用中に『Mulia』でCD録音を行うと、正しく動作しないことがあります。
- 『Mulia』で音楽を再生中に、他のアプリケーションを使用すると、再生音が途切れることがあります。

■ 格納ディレクトリについて

- 『Mulia』をインストールしたフォルダや音楽データを格納しているフォルダは、エクスプローラなどで操作しないでください。
  また、これらのフォルダを含むハードディスクのドライブ名は変更しないでください。

商標について

■ Copyright 2000-2001 KENWOOD GEOBIT Corp.

■ MuliaおよびSupremeは、株式会社ケンウッドの商標です。

■ ケンウッド・ジオビットは、株式会社ケンウッドの商標です。

■ OpenMG

OpenMGおよびSonic Stageはソニー株式会社の商標です。
（Sonic Stageはソニー株式会社製パーソナルコンピュータ「バイオ」にプリインストールされているソフトウェアです）
その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中では ™、®マークは明記していません。

■ MicrosoftおよびWindows, Windows NT, Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

■ MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。

■ libdes version 3.18

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in thedocumentation and／or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by Eric Young（eay@mincom.oz.au）

This software is provided by Eric Young "As is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall the author or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

サポートについて

■『Mulia』および『Mulia』の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用下さい

カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334　〒153-0042東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308　〒532-0034大阪市淀川区野中北 2-1-22

■『Mulia』サポートおよび製品情報に関するホームページアドレス

http://www.kenwood.com/j/download/mulia/index.html

■『OpenMG Jukebox』についてのお問い合わせは、OpenMGテクニカルインフォメーションセンターをご利用下さい

お問い合せ先電話番号　電話（045）650-2774
サポート時間　土・日・祝日を除く　平日10:00～17:00　（電話での対応のみ）

株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

KG-00-00-001